

令和 2 年度 教育課程編成委員会 議事録 (1 回目)

実施日：令和 2 年 6 月 2 日 (火) 13：30～16：30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティィー専門学校 校長)
藤浦公明 (愛知県理容生活衛生同業組合 事業部長)
伊藤広昭 (学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭)
富田 守 (㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー)
加藤千明 (全日本美容講師会愛知県支部 事務局長)
伊藤秀樹 (中部理容美容教育団体協議会 会長)
山口 孝 (アリアーレビューティィー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアーレビューティィー専門学校 教務主任)
高橋秀典 (アリアーレビューティィー専門学校 美容科チーフ)

欠席者：委員 なし

順不同

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 「職業実践専門課程」認定状況の報告 (令和 2 年 3 月 25 日現在)
- (4) 改正私立学校法 (令和元年 12 月 14 日及び令和 2 年 4 月 1 日施行分) の報告
- (5) 「入学資格」審査制度及び「新科設置」の説明
- (6) 平成 31 年 (令和元年) 度自己評価の報告
- (7) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。

(詳細は後記のとおり)

- (8) 閉会

終わりに、校長から令和 2 年度は第 2 回目を令和 2 年 12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○加藤千明 委員

(6)の教育環境について遠隔授業の話が出ましたが、中部美容では授業をしようとしたらフリーズしてしまいました。同時双方向型の授業の場合、授業を行う教室等以外の教室でも履修させることが可能であり、実際に授業を実施するに当たっては、面接授業に近い環境で行うことが必要であり、具体的には授業中、教員と学生が、お互いに映像・音声等によるやりとりを行うことや、学生の教員に対する質問機会を確保することについて配慮することが望ましいと思います。(5) 学生支援の就職活動についてですが、産学連携就職情報交換事業について只今報告を受けました。私もなんとなく知ってはいたのですが、今ここで、よくわかりました。私もそうですが、美容組合でも 2 割弱ぐらいしか従業員を雇っているサロンはありません。美容組合の方でも具体的に進捗状況がどこまでなのかは、よくわかりません。

(学校側)：オンラインの利点として、時間の有効活用、理解度に合った学習が可能等色々あると思います。ただ新型コロナの影響から始まったことであり、ある意味、学校が意図しない形でオンライン教育に踏み出した感があります。オンライン授業はやり方次第で時間を有効活用できるが、現場にその視点があるのか？アリアーレも臨時休校中、問題の配信等をしましたが、長時間パソコンに学生を縛り付けることには疑問を感じます。今後もこれらの活用は、教育の質の向上及び学生の学修効果の向上に資すると考えられることから、その促進に向けた方策を引き続き検討すべきだと思いますが、その際、予算や人員不足といった根本的な課題や、教育現場の実態の把握にどう対応するか考える必要があります。就職の産学連携については、魅力ある業界として全体の底上げを図るきっかけづくりとして教育センターは始められたのだと思います。離職率の改善は就労環境の改善ということでしょうか。

○伊藤広昭 委員

(7) 学生募集の件ですが、私ども菊華高校では8月より来校型のオープンキャンパスを再開いたしますが、名経大市邨や高蔵ではすべてオンラインで実施する高校もあります。(3) 教育活動においては、菊華でも臨時休校中の課題等は郵送で送っていました。また愛知県が推奨するリクルート「スタディサプリ」を昨年より導入しており、それを活用しています。ホームルームをズームやTwitterで行うこともありました。現在は授業を再開していますが、コロナが嫌で1学年に2~3名ほど登校を見合わせている生徒がいます。欠席扱いにはしていません。テレワークのお尋ねもありましたが、3月~5月は時差通勤を行い、ズームで職員会議をしたこともありました。

(学校側)：オープンキャンパス・学校見学に関してはオンライン型と来校型を用意しています。オンライン型は毎日でも可能なので、平日16時~で対応可能にしています。また1対1のオンラインになります。オンライン授業ですが、「同時・映像あり・双方向」がいいのか、「オンデマンド・映像無し」がいいのか考えるところですが、画面を見続けるのが疲れたり、同時や映像の必要性をあまり感じないところもあり、現状使用している進研アド様の「クラッシー」を今まで以上に活用することで授業の満足度を上げていく予定です。今のアリアールは①オンデマンド(同時ではない)、②映像は使う、③双方向性はない になります。小学校から大学まで「同時・映像あり・双方向」という形ばかりを求めるのはどうかと考えています。臨時休校中の出校日をあえて欠席する学生が1名おりましたが、休校明けからは全員出校しています。教職員のテレワークも教員は実施し、事務・広報系は出勤し外部対応をしてきました。

○富田 守 委員

(7) の学生募集に関して、遠隔授業や学校ガイダンスに関する対応は学校間でまちまちになっています。学校見学・オープンキャンパスですが遠方の方にオンラインは好評のようです。新しい学科を設置される予定との事ですが、評価項目(11)にもあるように、アリアールは教育機関として留学生をどのように思っているのですか？

(学校側)：遠方に対する学校広報も今までは、後援会サロン様が求人票を高校に持参する中で行うことを中心にしていましたが、オンラインの利便性を考えるとやり方を変える必要があると思います。広報に関しましては、31年度は30年度に続き御社スタッフの皆さまにもお手伝いいただき、高校訪問数を倍増して行ってきました。(7) 学生の受け入れ募集に記載。高校生まで中々、私どもの声が届かないことが

よくわかるのですが、毎年新入生アンケートの中で「アリアーレへの入学を決意させた最も魅力的なこと（他校との違い）」は何かを聞くのですが、毎年トップは授業内容・カリキュラム、資格・免許についてです。またこれはさんぽう様ではなく、他社様のデータで恐縮ですが、その理容・美容の学びの部分で高校生が求めているのは「ヘア」「メイク」です。では私たちの実際の学びとなるとどうかというと、高校生が求めている学びとはかけ離れていることがわかりました。学びのずれがよくわかりました。その点を教育課程に入れないといつまでも同じ感覚・やり方をしても学生募集につながる訳がありません。昔は大学に行く学力がない者が専門学校に進学しましたが、今は「自分が学びたいことが学べる」ところに進学します。今さら当然のことですが、その点をしっかり改善したいと思います。新科に関しては、評価項目（11）国際交流にも記載しましたが、留学生を念頭に置いた部分もありますが、日本人も入学できるクラスを設置する予定です。片一方だけに偏るのではなく、スペシャリストを目指すのか、ゼネラリストを目指すのかの観点で勧めていければと思います。

○藤浦公明 委員

評価項目（11）及び学生募集（7）、学生支援・就職（5）について外国人に関連したお話がでていますが、外国人の受け入れもそうだが、外国人就労・就学の際の日本語はどうするのか？私の店舗にもブラジルのお客様がお見えになるが、こちらは身振り・手振りでやっている。就職に関する産学連携の話ですが、コロナの影響で組合でも話し合いができていない。組合推薦の求人の件、執行部で話し合い・確認をしておきます。坂野組合理事長は学校の理事でもあります。学校側も坂野理事長と話し合ってください。

（学校側）：外国人の就労に関しては、美容組合の方が先行しており、日本語能力試験 2 級の取得が必須になる可能性があります。語学力以外にも様々な要件があります。アリアーレ入学の際は、語学力の資格要件はありませんが、入学試験において独自に日本語の試験を行っています。今回の可否の判断は国家試験までの指導に対する理解力があるかどうかで判断いたしました。外国人ばかりが目立つようですが、個別の入学資格審査や社会人受入れの推進を図るため、編入学制度や単位互換制度、科目等履修制度も新たに広報物に記載し用意しております。産学連携については、ぜひ労働環境の整ったサロンを組合様が担保して、アリアーレ卒業生が安心して働けるサロンとして就職情報を提供していただければと思います。

伊藤秀樹 委員

評価項目(11) 外国人就労に対する対応ですが組合側は反対だと聞いていますが、何か情報はありますか？学びの中でいつも中部理美協の大会に参加していただき、ありがとうございます。今年の開催の可否はまだ決定しておりません。

(学校側)：東京都理容組合からも外国人理容師の就労要望が提出され、外国人理容師・同美容師同時に実現に向けて動くものと思われましたが、全理連は理楽タイム等で大森理事長が反対を表明しておりますので、外国人美容師単独で検討されることになりそうです。技術大会に関しましては、愛知県大会、BTA 連合会、全国学生技術大会が軒並み中止になり、最後の砦として中部理美協様になるかと思えます。ぜひ、開催実現に向けがんばってください。

以上
記録：山口

令和 2 年度 教育課程編成委員会 議事録 (2 回目)

実施日：令和 2 年 12 月 14 日 (火) 13：30～16：30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティィー専門学校 校長)
藤浦公明 (愛知県理容生活衛生同業組合 事業部長)
伊藤広昭 (学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭)
富田 守 (株さんぼう 名古屋支社 経営企画グループリーダー)
加藤千明 (全日本美容講師会愛知県支部 事務局長)
伊藤秀樹 (中部理容美容教育団体協議会 会長)
山口 孝 (アリアーレビューティィー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアーレビューティィー専門学校 教務主任)
高橋秀典 (アリアーレビューティィー専門学校 美容科チーフ)

欠席者：委員 なし

順不同

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 外国人留学生就労 (内閣府) について
- (4) 高校の普通科再編案 (文科省) について
- (5) コロナ禍の入試・進路影響について
- (6) 今年度の広報活動及び来春 4 月の入学予定者について (アンケートより)
- (7) アリアーレの教育課程に導入すべき点について
- (8) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。
(詳細は後記のとおり)

- (9) 閉会

終わりに、校長から各委員 2 年間の任期が満了する旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○藤浦公明 委員

教育課程編成に導入すべき内容について、他校でのカットの種類等の話が出ていますが、基本カット、顔そり等の「基礎」をしっかりやっていたら、あとは応用なのでそれでいい。「基礎」をしっかり。高齢者福祉に対する業界のニーズはありますので、ぜひ、進めてもらいたいと思います。

(学校側)：学校は他校との競争ですので、他校を知ることは重要と考えますし、高校生が勉強したい事、時代に即したものも考えない競争には勝てないと思っております。教員が実際にやっている分野・内容とそれを完全に理解しきれない広報側との差が露呈しましたが、次期学校パンフレットは高校生の声に対し、教員が作成していきますので、その点は解消すると思います。高齢者サービスについては、今までは福祉施設の慰問のような形に留まっていたのですが、来期からは実際に授業に取り入れ、在宅や施設において美容師・理容師による美容・理容の実践に取り組んでいきます。(予約・お迎え・施術台への案内、タオル・クロス装着、カット、シャンプー、仕上げ等の施術から退店、シェービング、ヘアケア、ヘアカラー等のハンドケア、介助用具の学習ほか)

○伊藤秀樹 委員

学びの充実についてですが、メイクだけでは就職は難しく、メイクだけでなく、スタイリストとしても育てる学びが必要だと思います。逆にヘアメイクに特化するならカット技術はいらぬ。逆に着付け等の衣装から入らぬとダメ。

(学校側)：専門学校は大学以上に就職率や就職先を意識しないといけぬ。出口戦略のない専門学校はナンセンスだと思っております。ただ求人先からの問い合わせに対応しているだけでなく、こちらから意識して探しにいかないと、その先はまったく広がらぬと思っております。学びのニーズに対応するだけでなく、就職先も探さぬといけぬ

い。これは今後予想される留学生の就職先にも通ずる問題だと思いますので、学校内でももっと話し合いを持つ必要があると思います。

○富田 守 委員

今年度の広報活動についてですが、仕事柄、高校・大学・専門学校訪問等をする、コロナの影響で理美容学校に限らず愛知県に来たくない、3年生は仕方ないのでオープンキャンパスに参加するが1年生、2年生の動きはととても鈍い。日本語学校の留学生は往来禁止の影響で例年の半分くらいの入学、コンピューター系の専門学校は伸びている、大学も学生確保はまずまずのようです。ただ就職は先が見えないので求人は出しづらい面が企業側ではあるようです。

(学校側)：学校評価会議でも出ましたが、コロナ禍で、経済面の格差が今まで以上に広がり、4大から2年間の専門学校、就職難から専門学校の声は聞くことはあります。また大学は、就職ができない専門学校の留学生を取りに来ると言った話も耳にします。いずれにせよ、学びたい内容、入学してみたい学校にならなければならない事は同じですので、工夫改善は続けてまいります。オープンキャンパスは高校1年生、2年生は例年になく少ないので、その方たちに対する広報戦略は別途必要と思います。外国人留学生に関しては御社のご協力もあり、10月31日時点で学校見学・オープンキャンパスが19校52名。校内・会場ガイダンスでは21件350名の方に直接お話しすることができました。また今回、参考資料としてお手元にご用意した様々なアンケート等は御社のご協力によるものです。誠にありがとうございました。今後の歯止めといたします。

○加藤千明 委員

いかにメイクを教育課程に上手に編成するのかという話ですが、メイクの先に何があるのか、化粧品をしたいのか？ヘアメイクをしたいのか？、中部美容専門学校でメイク希望者と聞くといない。バックヤードでの仕事が楽しいのでしょうか。現場を見せることも学びの大きな一環であると思います。

(学校側)：確かに、理想と現実を知るためにも、現場を見せることは大事だと思います。外国人美容師の就労が令和4年4月より始まる予定ですが、10月28日に内閣府に確認したところ、実現に向けて検討中で、今のところ特段の課題等は出てきていないそうです。結論は12月中旬以降になる見込みとの事。現在、手を上げているのは東京都と大阪府で、次の自治体も認定された後に、手を上げることができるそ

うです。(仙台市、仙北市、神奈川県、千葉市、愛知県、大阪府、兵庫県、京都府、広島県、今治市、福岡市、北九州市、沖縄県)

○伊藤広昭 委員

弊校の生徒の状況を申し上げますと、今年は、就職希望者が多い。(進学辞めて就職)しかし就職増えても求人数は減っています。今までは合格していた企業でも今年は落ちた生徒がいました。全体の内定率はまずまず。コロナ禍での入試対応の話も出ましたが、中学生の高校入試の際、濃厚接触者は別の日になります。高校再編案については現在様子見ですが、1年前には文科省の方も方向性をもっと確定してくれないと私立は間に合わない。留学生の話が出ましたが、今のパンフレットを見ると日本人向けと留学生向けの内容が1つの冊子になっています。留学生がたくさんいると日本人が引いてしまう可能性もあるので、お金はかかるがパンフは別がいいと思います。学びについてですが、メイクは楽しそう、理美容は堅いイメージがあるようです。ある程度方向性は示した中で、最終的には本人が進路決定していきます。

(学校側)：文科省の教育改革も最近目まぐるしく、来月の大学入試共通テストもそうですが、来年から専門学校も出願時期、可否通知の時期が変更になります。高校再編につきましても高校様(相手方)の事を知らずに訪問する事は憚られると思いますので、しっかり追いかけてたいと思います。学校教育と社会とのズレはどの学校種でもあると思います。前回の会議でも話題になりましたが、片一方だけに偏るのではなく、スペシャリストを目指すのか、ゼネラリストを目指すのかの観点からも本人はもちろん学校も考えていければと思います。

以上
記録・山口